地域社会との関わり

クボタグループは、事業を展開する世界各国・各地域の文化・習慣を尊重し、現地コミュニティとの信頼関係構築に努めています。また、企業市民としての責任を果たすための活動に取り組んでいます。

クボタeプロジェクト

「食料・水・環境」分野における社会貢献活動

クボタは、「食料・水・環境」分野における社会貢献活動への取り組みとして、2008年度に「クボタeプロジェクト」をスタートさせました。
「美しい地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしを支えていく」ことを皆様との約束として、ステークホルダーの理解と協力を得ながら、持続可能な社会づくりのための社会貢献活動に取り組んでいます。

クボタeプロジェクト
www.kubota.co.jp/epro/

市民活動支援

毎日地球未来賞

「食料・水・環境」分野において国内外で草の根レベルで社会の問題解決に取り組む個人や団体を讃え、顕彰する活動に協賛しています。クボタは、1989年に始まった前身の「毎日国際交流賞」から協賛しており、2011年に「毎日地球未来賞」へ名称変更してからの応募総数は、716件にのぼります。

社会課題の解決

耕作放棄地再生支援

全国に広がる耕作放棄地を再生しようとする取り組みを、農業機械での作業応援を通じて支援しています。

耕作放棄地の面積は全国で約40万ヘクタール※
※ 2015年農林業センサス 確報 第2巻
農林業経営体調査報告書 －総括編－ より

棚田保全活動

農業をより理解することで、お客様目線のモノづくりができるようになることを目的に、「石畑の棚田」（農林水産省が認定する「日本の棚田百選」に選ばれる棚田。所在地は栃木県茂木町。）の棚田オーナー活動に参加しています。

障がい者雇用と遊休農地活用を目的とした水耕栽培事業の展開 ～クボタサンベジファーム(株)～

2010年2月にクボタグループの特例子会社として設立された会社。

今日、農業は安心で安全な良質の食料を供給することに加え、農村の自然環境を保全するという、きわめて重要な社会的役割を担っています。そうした中、大阪府南河内郡にあった遊休農地を活用し、水耕栽培野菜の生産と販売を行っています。この事業を通じて、障がいのある人達の雇用を創出し、障がいのある従業員が、生き生きと働くことができる職場環境づくりに努めています。

現在は16名の障がい者を雇用しています。

クボタサンベジファーム
www.kubota-works.co.jp/

紹介ムービー
www.kubota-works.co.jp/

森林保全活動

クボタの森

東京都の森林保全活動に協賛を始め、東京都水道局が管理する水源林の一区画2.89haの敷地を「クボタの森」と命名しました。

2017年からは、新入社員が“地ごしらえ”や“草刈り”、“植樹”などを行っています。

次世代教育

クボタ・アクティブ・ラボ

「食料・水・環境」分野のテーマについて、参加者である高校生一人ひとりが自ら考えながら学んでいく機会を提供しています。1985年から協賛を続けており、延べ2,000名近くの子どもが参加しています。

2019年のアクティブ・ラボは、「人はなぜ宇宙を目指すのか」をテーマに、宇宙開発がSDGsの視点でどのような役割を果たしているのか、宇宙飛行士の毛利衛さんと慶應義塾大学の神武直彦さんにご講演いただきました。

第一部では、慶應義塾大学の神武直彦さんが「Space Tech for SDGs」と題し、宇宙技術がいかにしてSDGsに貢献するのかについてご講演。次に宇宙飛行士の毛利衛さんに「100億人で宇宙へ挑戦」と題し、限られた地球環境で私たちがいかに豊かに生き延びられるのかの知恵の大切さについてご講演いただきました。

参加した高校生たちは、宇宙の大きな可能性について興味深く耳を傾けていました。

クボタ地球小屋（てらこや）

子どもたちが自然の恵みの豊かさや地球環境の大切さについて学び、考えるサマーキャンプに協賛しています。2007年から始まり、延べ268名の子どもが参加しています。

理系進路選択支援プログラム

農業機械の試乗体験会や技術社員の講話・パネルディスカッションなどを通じて、中高生の理系進路選択を支援する機会を提供しています。（関西科学塾など）

出前授業

小中高生を対象として、農業機械や水の浄化の仕組みなど、「食料・水・環境」に関わることを学ぶ機会を提供しています。

クボタ元氣農業体験教室

田植えや稲刈り、収穫物の試食など稲作体験を通じて、農業への理解促進や情操教育推進のお手伝いをしています。

FOCUS

小中学生向けバスケットボール教室の開催

クボタは2017年から、プロバスケットボールチーム大阪エヴェッサ※と協力して、本社所在地の浪速区内の小中学生を試合に招待する取り組みをしています。

これは、スポーツの臨場感や子どもたちに感動や喜びを伝えることで健全な心身を育成しようというものです。

※ 大阪で唯一、プロバスケットボールリーグB.LEAGEに所属するチーム。

【寄付実績】
2017年　360枚
2018年　400枚
2019年　133枚 + バスケットボール教室

2019年は大阪エヴェッサからコーチにお越しいただきました。浪速区内の小中学生向けに、クボタ本社体育館でバスケットボール教室を開催し、参加者には当日の試合観戦チケットを配布しました。

バスケットボール経験の有無にかかわらず集まった子どもたちは、ドリブルやシュートの練習を通じてバスケットボールを体験した後、浪速区内の体育館で開催された大阪エヴェッサの試合を観戦しました。

地域交流

クボタeデー

地域の環境美化・清掃活動として、従業員参加型のボランティアを実施しています。全社で取り組み始めた2008年以降、延べ約8,000名が参加しています。

ジャパンカップ・サイクルロードレース

宇都宮市で毎年開催される「ジャパンカップ・サイクルロードレース」において、栃木県にあるグループ3社（クボタ宇都宮工場、（株）クボタケミックス栃木工場、クボタ空調（株）栃木工場）の従業員が、レース中の立哨ならびにレース後の清掃活動に協力しています。

企業スポーツを通じた社会貢献活動

ラグビーチーム「クボタスピアーズ」を運営し、ラグビーの普及とラグビーを通じたSDGsの推進に貢献しています。

クボタは、日本ラグビーの最高峰リーグであるジャパンラグビートップリーグに所属し、千葉県船橋市を本拠地とするラグビーチーム「クボタスピアーズ」を運営しています。2017年には船橋市とのホームタウン協定を締結し、ラグビー指導や普及活動、地域のイベントに積極的に参加し、地域に愛されるチームづくりに取り組んでいます。また、ラグビーを通じたSDGsの推進も行っています。

教育委員会と連携した近隣の小学校への訪問授業（タグラグビーの指導）

中学生のラグビー指導を行うU-15育成プロジェクト

ラグビー未経験者を対象としたラグビー体験イベント
「ラグビーはじめてスピアーズ」の開催

船橋市立医療センターへのラグビー教室

たんぼラグビー大会への参加を通じたラグビーの普及・指導

選手たちによる防犯パトロールランニング

クボタスピアーズ公式サイト
www.kubota-spears.com/

FOCUS

各地の“たんぼラグビー”に参加

クボタスピアーズは「たんぼラグビー」創設以来、ラグビーの普及と地方活性化のため、全国各地で開催される大会に参加しています。

「たんぼラグビー」は2015年に京都府福知山市での開催をきっかけに、全国各地で行われるようになった、田植え前の4～6月の期間に田んぼでラグビーをするイベントです。

【2019年参加実績】

4月21日(日) たんぼラグビーinうきは(福岡県うきは市)
5月11日(土) たんぼラグビーin美馬(徳島県美馬市)
5月19日(日) たんぼラグビーin京都・福知山(京都府福知山市)
6月 1日(土) 手賀沼たんぼラグビー(千葉県柏市)
6月 9日(日) たんぼラグビーin総社(岡山県総社市)

FOCUS

ワールドカップ2019で活躍した選手

ピーター“ラピース”ラブスカフニ
PIETER “LAPPIES” LABUSCHAGNE

ポジション：フランカー
身長／体重：189cm／106kg
出身国：南アフリカ
日本代表として5試合すべてに出場し、アイルランド戦、サモア戦ではゲームキャプテンを務めました。

ドウェイン・フェルミューレン
DUANE VERMEULEN
(2020年5月退団)

ポジション：ナンバー8
身長／体重：193cm／118kg
出身国：南アフリカ
南アフリカ代表としてチームの優勝に貢献。
決勝戦では、プレイヤー・オブ・ザ・マッチに選ばれました。

クボタスピアーズ公式サイト
www.kubota-spears.com/

海外での社会貢献活動

子どもたちにおもちゃを寄付

Great Plains Manufacturing, Inc.（米国）では、毎年おもちゃや寄付金を集め、恵まれない子どもたちに届けています。2019年までに20万ドルを約2万人の子どもたちに届けました。

地域のボランティア活動に参画

Kubota Tractor Corporation（米国）では、地域のボランティア団体と協働で、植樹や湖の清掃など、さまざまな活動に取り組んでいます。

井戸建設支援

安全な水にアクセスできない人を少しでも減らすべく、アジア地域で長年にわたり活動しているNGOを通じて現地への支援を進めています。2018年までに6基の井戸が完成しました。

農村発展のプログラムに協力

Kubota Agricultural Machinery India Pvt. Ltd.（インド）では、地元のロータリークラブとタイアップして、生活用水の井戸の再生、飲料用の浄水設備の設置を実施しています。

若い就農世代のサポート

SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.（タイ）は若い世代の農業知識をサポートし、前向きな姿勢になってもらうことで農業を始める動機を提供したり、農家への技術提供などを行っています。

公園を修復

久保田農業機械（蘇州）有限公司（中国）では、事業所近隣の住宅にある公園で、破損設備の修復やマットの更新などを実施しました。

本の寄付活動

久保田農業機械（蘇州）有限公司（中国）では、近隣住民の子どもたちに本を読む機会を与えるため、本を贈る活動を実施しています。

【本の寄付実績】

2016年	300冊	2018年	220冊
2017年	144冊	2019年	399冊

小学生向けの環境教育

P.T. Kubota Indonesia（インドネシア）では、地元の小学校にLEDランプを寄付するなどの活動を通した環境教育を実施しています。

【LEDランプ寄付実績】

2016年	500個	2018年	225個
2017年	420個	2019年	140個

子どもたちにスクールバッグを寄付

SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd.（タイ）は、タイとその周辺国の子どもたちにkubotaロゴ入りのスクールバッグを寄付しました。

【寄付実績】

タイ	：	47,000個
カンボジア	：	20,000個
ラオス	：	9,000個

小学生向け絵画コンクールを開催

Kubota Farm Machinery Europe S.A.S（フランス）は、近隣小学校の生徒を対象とした第2回絵画コンクールを開催しました。

今回のテーマは「農業」。応募作品は工場内に展示され、従業員による投票が行われました。入賞者には小学校の修了式の際に、表彰状と賞品が贈られました。

農業高専へトラクタを寄付

Kubota Farm Machinery Europe S.A.S（フランス）は、トラクタに搭載された最新のテクノロジーを若い技術者に勉強してもらう機会を提供するため、2017年から近隣の農業高専へM7トラクタを寄付しています。寄付をした高専とは、インターンシップ生を受け入れるなど継続して関係を築いています。

被災地の再生・復興に向けた支援活動

東日本大震災

農業を通じて未来を担う若者たちを応援

～宮城県・福島県の農業高校で稲作実習に協力～

クボタは、東日本大震災復興支援の一環で、これからの東北農業を支えていく若者たちを応援しています。宮城県農業高等学校と福島県立磐城農業高等学校の2校で「鉄コーティング直播※」での稲作実習をお手伝いしています。最新の栽培技術を学ぶことを通じて、被災地復興と地域農業を支える人材育成に貢献したいという思いで取り組んでいます。

※ 鉄コーティング直播：育てた苗を植える従来の方法ではなく、種もみを鉄粉でコーティングし、直接田んぼに播種して育てる栽培技術。

農業を通じて未来を担う若者たちを応援

～「農業機械メンテナンス見学・試乗特別講座」を実施～

2018年から、被災した実業高等学校を対象にした「農業機械メンテナンス見学・試乗特別講座」を実施しており、毎年約40名の生徒が参加しています。

最新鋭の農業機械を実際に見て・触れることによって、農業について、また農業機械について学んでいただく機会を提供しています。

農業を通じて未来を担う若者たちを応援
～JENESYS2018日ASEAN学生会議に協力～

外務省が推進する『対日理解促進交流プログラム』事業の一つである「JENESYS2018日ASEAN学生会議」の事務局より、東日本大震災から復興に向け立ち上がった若者や農家の方々との交流をしたいとクボタへ要請があり、宮城県農業高等学校・美田園ファーム(宮城県農業高等学校卒業生が経営)の視察会を実施しました。

被災地域の皆様にスープ・パンを提供

宮城県名取市の閖上小中学校で開催された追悼イベントにおいて、クボタグループが震災直後から技術支援などを行っている宮城県農業高等学校の生徒たちが「北限のシラス」を使ったオリジナルスープを提供しました。

当日は、クボタも従業員ボランティアにより運営をお手伝いするとともに、被災地をつなぐ活動の一環として、中九州クボタグループが製造販売する熊本県産のお米を使用した玄米パンの試食配布も行いました。

生徒によるオリジナルスープの提供

玄米パンの配布

詳しくはこちら
www.kubota.co.jp/kubotainfo/index140.html

全国の被災地を応援

長野県千曲川周辺で、新入社員を中心とした総勢128名が、ボランティア活動を行いました。千曲川周辺は台風19号の影響で堤防が70mにわたり決壊した地域で、被災住民の多くはクボタのお客様でもある農家の方々。少しでも復興の力となれるよう、りんご畑の汚泥の掻き出しや、被災宅での泥出し、家屋の清掃等を行いました。

クボタスピアーズは、ラグビーを通して被災地を元気にしたいという思いから、西日本豪雨の被災地で「たんぼラグビー」を開催しました。

クボタグループの各事業所で実施されるイベント(納涼祭など)での景品に、被災地域の食材を採用しました。

詳しくはこちら
www.kubota.co.jp/kubotainfo/index141.html

復興支援に活躍するクボタグループ製品

上下水道復旧、仮設住宅の配管整備・排水処理、農業用水復旧などを通じて、クボタグループのさまざまな製品が被災地域の復旧・復興、街づくりに活躍しています。

ダクタイル鉄管（水道・下水道・ガス管など、ライフラインの復旧・整備に活用）

合成管（水道・下水道・ガス管など、ライフラインの復旧・整備に活用）

ポンプ（緊急排水をはじめ、大雨による浸水や高潮による浸水への対策として利用）

バルブ（流体・気体を制御し、水道・下水道・ガス管など、ライフラインの復旧・整備に活用）

水処理プラント（生活排水・産業排水等を処理）

浄化槽（下水道が整備されていない地域、仮設住宅等の排水処理に活用）

鋼管（基礎杭として橋梁基礎、港湾、河川、建築基礎など多方面に利用）

建機（瓦礫の撤去や各種土木工事などに利用）

トラックスケール（トラックに積載された瓦礫などの重量を計測）

マンホールポンプ（下水を圧送）

災害への対応について
www.kubota.co.jp/message/

石綿問題への対応

クボタは旧神崎工場周辺住民の方々や従業員に石綿疾病の方が出ている事実を真摯に受け止め、過去に石綿を扱ってきた企業として社会的責任を果たすという観点から、今後とも誠意をもってこの問題に取り組んでいきます。

周辺住民の方々に対しては、個別の因果関係にとらわれることなく、石綿を取り扱ってきた企業の社会的責任から、治療を受けておられる方やご家族の皆様方の生活面でのご苦労、精神的なご苦痛を少しなりとも軽減することができるように、国の「石綿による健康被害の救済に関する法律」とは別に、「旧神崎工場周辺の石綿疾病患者並びにご家族の皆様に対する救済金支払い規程」を制定し、救済金をお支払いしています。

詳細については、www.kubota.co.jp/kanren/ をご覧ください。